

当院において 2010 年 1 月 1 日～2014 年 12 月 31 日に造血幹細胞移植前処置としての全身照射を受けられる患者さんへのお知らせ。

川崎医科大学 放射線医学(治療)教室および血液内科教室では、下記研究を実施します。

課題名：「造血幹細胞移植前処置としての全身照射の対象疾患および照射方法の全国調査」

研究の概要

全身照射は、造血幹細胞移植の前処置として重要な治療法であり、今後適応疾患も増加する可能性のある治療法です。全身照射の照射方法は各施設の状況に応じて種々の方法で施行されているのが現状です。その方法について過去に 3 回の全国調査が行われてきましたが、2002 年以降施行されておらず、現状がどのように変化しているか不明であり、実態調査を早急に行う必要があると考えられます。

今回の我々の研究目的は、(1)本邦における全身照射の診療実績を明らかにする。(2)本邦における全身照射の照射方法を明らかにする。(3)過去の全国実態結果と比較検討し、近年の全身照射の実態を明らかにすることです。

この研究成果は、今後の全身照射の実施体制の整備に寄与します。

対象患者は、2010 年 1 月 1 日～2014 年 12 月 31 日の 5 年間に全身照射を施行した症例です。

研究期間は、倫理委員会承認日～2017 年 12 月 31 日の予定です。

研究の対象となる項目は、(1)全身照射の対象疾患の過去 5 年間の実施症例数(2010 年から 2014 年)。(2)全身照射の照射方法の情報を、電子カルテより収集し、その情報を日本放射線腫瘍学会の準備した全施設検討事項アンケート調査の回答に使用する、多施設後方視的調査研究です。

この臨床研究は、個人が直接同定されうる情報は収集いたしません。

研究者が企業等から経済的な利益(謝金、研究費、株式等)の提供を受け、その利益の存在により臨床研究の結果に影響を及ぼす可能性がある状況を利益相反状態といいます。

本研究は教員研究費を用いて行います。

本研究の関係者には、Meiji Seika ファルマ(株)、大日本住友製薬(株)、一般社団法人日本血液製剤機構、ブリストル・マイヤーズ(株)、アステラス製薬(株)、中外製薬(株)、MSD(株)、エーザイ(株)、協和発酵キリン(株)、大正富山医薬品(株)、塩野義製薬(株)、大鵬薬品工業(株)より、奨学寄付金の受け入れがありますが、利益相反委員会にこの内容を申告し、適正に管理されています。

なお、上記企業は、本研究課題には直接関係はない企業です。

本研究の結果は研究終了後に論文として発表いたします。

この研究に関してご質問のある方や研究への参加を希望されない方は、下記までご一報下さいませようお願い致します。

問い合わせ先：川崎医科大学 放射線医学(治療) 講師 釋舎 竜司

〒701-0192 倉敷市松島 577 TEL : 086-462-1111 FAX : 086-464-1132

電子メール : radoncol@med.kawasaki-m.ac.jp